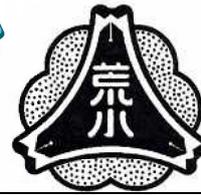




チャレンジ ～挑戦～



荒井小学校 学校だより

令和 6年11月 1日
第 8 号
文責：校長 星 秀文

教育目標 「かしこく、やさしく、たくましく」



荒井小学校の歴史を再確認！ 創立150周年記念学習発表会&式典



10月26日（土）の創立150周年記念学習発表会並びに式典は、荒井小学校にとって、大きな節目を迎えた記念すべき一日となりました。

学習発表会では時間の関係で演目を減らし、低・中・高の3つに分かれての発表でしたが、どれも見応えのある素敵な発表でした。大きな声で精一杯体を動かして表現した低学年の劇『北風とたいよう』。リズムに合わせ、見事なハーモニーと合奏と元気いっぱいノリノリでのダンスで会場を沸かせた中学年の音楽発表『Let's Enjoy Music!!～どこまでも響け！私たちの音楽！』。150周年にちなみ子どもたちが自分で調べ、劇の内容、演出も考えた高学年の創作劇『荒井小ヒストリー』。見に来た方々からも「感動しました。」「とてもよかった。」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。

また、記念式典では、福島市長はじめ、教育委員会教育長、歴代校長先生方が参列し、厳かな雰囲気の中挙行され、4年生以上の子どもたちも大変立派な態度で式に参加しました。これまでの数々の事業を通して、子どもたちも我々教職員も、荒井小学校の歴史を再確認することができた貴重な機会でした。この日までご協力ご尽力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。



荒井地区の皆様ありがとうございました！



～校長式辞～

本日、福島市長 木幡 浩 様をはじめ、福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美 様、歴代の校長様、諸団体代表の皆様にご臨席賜り、創立150周年記念式典を挙行できますことを、心より御礼申し上げます。本校は、明治8年1月15日、「白山寺」本堂を借り受け開設いたしました。数多くの試練を乗り越え、150年間教育活動が営まれてきたのは、ひとえに地域の皆様のご理解とご協力、歴代の校長先生方をはじめとする教職員の皆様の教育への熱い情熱と研鑽の賜です。ここで、私が思っている荒井小学校の伝統について話をします。ここに「荒井小学校百年のあゆみ」の冊子があります。この中で、当時の校長先生が話した言葉があります。それは「和衷協同（わちゅうきょうどう）」です。意味は「心を一つにして共に力を合わせる」。150周年を迎えるにあたって、地域の皆様から多大なるご寄付、ご協力、応援をいただきました。そして、記念事業の数々は皆様方が心を一つにして共に力を合わせたからこそ、このように盛大にそして子どもたちの心の中にしっかりと刻まれる素晴らしい事業になったと思います。これこそ「和衷協同」。私は、この言葉に荒井小学校の、そして荒井地区のすばらしい伝統が表されていると思っています。

6年生のみなさん。みなさんはどんな伝統を受け継ぎましたか？よく考えてみましょう。そして、「これだ」と思うものを、在校生に伝えてください。

まだまだ語り尽くすことのできない思いではありますが、本日お越しいただいた皆様からのこれまでの温かいご支援ご協力への御礼と、記念事業にご尽力いただいた実行委員の皆様、PTA役員、地域の皆様に心より感謝の念を申し上げ、荒井小学校創立150周年記念式典の式辞といたします。

令和6年10月26日

福島市立荒井小学校長 星 秀文

